

精華町教育委員会議事録

平成28年（第12回）

- 1 開 会 平成28年12月21日(水) 午前10時00分
閉 会 平成28年12月21日(水) 午前11時00分

- 2 出席委員 伊藤委員長 中谷委員 蓑毛委員 細川委員
太田教育長 (欠席委員なし)

3 出席事務局職員

岩崎教育部長 北澤総括指導主事
竹島学校教育課長 仲村生涯学習課長
山崎学校教育課主幹

- 4 傍聴者 なし

5 議事の概要

(1) 開会

委員長から第12回教育委員会の開会を宣言。

(2) 前回会議録について

教育部長から平成28年第11回教育委員会の会議録について説明。

【意見等】

- ・特になし

【採 決】

- ・全員承認

(3) 教育長報告事項

今年の7月から稼働した教育支援室の活動内容の総括報告を行う。

7月から11月までの相談件数の累計は152件であった。相談内容別では、学校からの相談が78件、保護者からの相談が36件であった。また一般住民からの相談は1件、ケース会議に教育支援室として参加したのが3件、苦情や相談に対する学校訪問が20件、警察や児童相談所、弁護士等と連携をとったのは7件であった。その他については7件であった。学校からの相談件数については当然の数字かと思われるが、保護者からの相談が多く

定着してくれば相談件数も更に増加するものと思われる。相談室を開設して一定の成果が上がったのではないかと考えている。

相談の一例を挙げてみると、特別支援教育に関する子どもの就学先についての相談、思春期の子育てに関する相談、不登校に関する問題、保護者同士のトラブルや、他府県から転入する際の相談など、多様な相談内容である。より中身が充実するよう、今後も取り組んでいく必要があると考えている。

【総括指導主事による補足】

教育相談に関しては教育支援室の5名が対応しているが、受けた相談については記録しており、毎月平均30から40件の相談がある。

(4) 諸報告

教育部長 1 12月会議における教育委員会教育部関係議案について

67号・68号議案として、教育委員会の教育委員の任命同意を求めることについて、1人目が松本秀男様、2人目が新司英子様である。採決については、いずれも全会一致で可決された。

次に69号議案が精華町教育委員会教育長の任命同意を求めることについてで、新教育委員会制度に基づいた中で、今回、太田教育長が本日をもって辞任され、明日22日から新制度のもとでの新教育長となる。こちらについても全会一致で可決された。

補正予算の関係について、教育委員会関連では、まず1つ目が要・準要保護児童就学援助事業について、当初見込んでいた人数から増加したことによる所要の経費を増額補正するもの。2つ目が中学校の空調整備に関して増額補正を行うものである。この議案については、予算決算常任委員会で可決いただいたので、明日の最終日に本会議の中で可決いただければ成立となる。

教育部長 2 平成28年度精華町議会定例会12月会議の一般質問答弁概

要について

佐々木雅彦議員からは、図書館1階の集会室を一般利用可能に、という質問であった。この間、社会教育活動については拡充していく旨の答弁を3月で行っているが、完全な一般利用をということであれば、施設管理上の問題から現状においては一般開放することは難しい。ただし、事務室と一般開放部分との間に扉等の設置ができるということであれば、数年後の開放に向けて取り組むという内容の答弁を行った。

宮崎睦子議員からは、大きく4点あった。1つ目には、今回の南陽高校の中高一貫校についてどう捉えているか、また、予想される課題について。2つ目には、山田荘小学校、精華南中学校の小中一貫校についてどう考えるか。3つ目に中学校の3学期制について。4つ目には、教育委員会実施事業に対し費用対効果の検証を考える時期ではないか。以上の質問があった。

まず南陽高校の中高一貫校についてどう捉えるかについては、国内外の大きな舞台で飛躍するとともに、学研都市の未来を担う有為な人材が育成されることを期待ができると捉えている。課題としては、適正な学校規模の確保に影響が出ないか、あるいは小学校の段階からの過度な受験競争が生じないかといったことが懸念されるとの答弁を行った。

なお、それに対し宮崎議員からは、小学校での受験等により親にも子どもにもストレスが出ないかということで、スクールカウンセラーはどうなっているかとの質問があった。それについては、町の独自施策として、防衛省の交付金を活用し、全ての小学校に配置をしており、他市町村等に比べると手厚いのではないかと答弁を行った。

小中一貫校については、メリット、デメリット多数あるが、一番大きな問題については、学校施設の統合にはやはり過大な財政負担が生じることがあり、慎重に考えていきたい旨の答弁を行った。

学期制の関係については、この間も教育長から説明させて

いただいているが、他団体においては、空調設備の整備によって秋の授業開始を早め、授業時数を確保した中で、3学期制に戻ってきているという状況がある。そういうことも踏まえたうえで、本町でも学期制の在り方懇談会でまとめを行い、学期制の在り方について今年度中に明確にしていきたいという答弁を行った。

各種事業の見直しについては、教育委員会でも提案等行っているが、当初の目的を達成しているもの、今後もそれを拡張していくもの、あるいは縮小していくもの等、様々であるので、各種事業の精査検証を引き続き行っていく旨の答弁を行った。

柚木弘子議員からは、学校施設の大規模改修と長寿命化計画策定の進捗状況についての質問には、国が策定期限を平成32年度末までと定めているので、それに基づき本町でも32年度末までには策定をしていきたいと考えている。ただし、緊急を要する部分改修については従来どおり緊急対応している旨の答弁を行った。

次にトイレの洋式化と臭気対策の関係については、臭いの元が尿石という事でもあり、現在、尿石除去の薬剤を使用し検証を行っているところであり、効果があれば継続していく。それと併せて、専門業者による清掃についても考えていきたい、緊急的に手を打てるものから実施したいとの答弁を行った。これについては総合教育会議の中でも多数ご意見をいただき、町長も十分認識されていると考えているので、引き続き取り組みを進めていきたい。

各老朽化施設については、優先順位について学校現場と相談をしながら状況に応じた修復に努めている旨の答弁を行った。

森元茂議員からは、内容的には3つあるが大きくは防災教育に関する1点であった。

学校での防災教育の取り組みについては、学習指導要領では「学校における教育活動全体を通じて行うこと」と規定さ

れており、それぞれの発達段階に応じて様々な力を身につけて適切な意思決定、行動選択が行える能力の育成に現在は努めている旨の答弁を行った。

学校における防災教育マニュアルについては、文部科学省、あるいは京都府が教職員向けに作成されている手引き書などを活用しており、独自のマニュアルについては作成をしていない旨の答弁を行った。

今後の防災教育の取り組みについては、常に自分自身的事として捉え、命の尊さを自覚させるということで、引き続き児童生徒がさまざまな状況に応じて適切に判断し、率先して行動できる能力の育成するため、家庭あるいは地域社会とともに取り組みを進めていきたい旨の答弁を行った。

神田育男議員からは、中学校給食の関係と2学期制について質問があった。

中学校給食に関係する内容は、今現在、基本構想の基礎調査を行うための準備を進めている。これについてはアンケートも含んでおり、その結果を踏まえて基本構想の策定へと進めていきたいという考え方である旨の答弁を行った。

中学校給食の実施の3つの基本的事項については、センター方式、場所は精華中学校内、3校同時実施という内容についてであるが、この平成25年2月に定めた精華町立中学校における学校給食の実施に関する基本的事項に沿って中学校給食の実施を目指しており、今のところ考え方に変更はないという答弁を行った。

2学期制については、今年度中に明確にする旨の答弁を行った。

坪井久行議員からは中学校給食についての質問があった。

中学校給食の導入に向けた学校給食基本構想の策定の到達点については、幾つかの観点を基本構想の中に盛り込んでいくという事が本町の最終的な到達点という考え方であるとの答弁を行った。

中学校給食実施の明確な見通しについては、中学校・小学

校のエアコンを整備した後となることから、平成30年度以降となる旨の答弁を行った。

財政課題の目途については、文部科学省の給食設備補助金の活用など、全力で財源確保に努める。建設費等の精査については、具体的な設計に入った段階で改めて行うことになるとの答弁を行っている。

給食直営方式の成果と今後の課題については、地産地消の視点を取り入れるとともに、地域に残る郷土料理を提供することで、郷土学習に繋げていることや、また冷凍食品などを使わず極力手づくりこだわった給食メニューということについても本町の特徴であり成果として考えている。一方、今後の課題では、調理の一層の技術向上、あるいは衛生管理の徹底や調理効率化に対し、民間活力を利用するといった運営合理化の点などが今後の課題であるという認識している旨の答弁を行っている。

総括指導主事 1 生徒指導報告について

(1) 小学校

「生徒間・学校管理下以外」について2件、「金銭物品盗」について1件、「無断外泊・家出」について1件、「その他」について1件報告あり。不登校については、10月から1名増加の13名であった。

(2) 中学校

「金銭持出」が1件、「悪質ないたずら・不健全な遊び」が1件あった。その他に「無断外泊・家出」が1件、「不純異性交遊」が1件報告あり。不登校については、28名で前月より3名増加している。

生涯学習課長 1 成人式の実施について

1月9日月曜日、成人の日に1時半から4時頃まで成人式を実施する。精華町内の対象者は約450名。参加率は近隣と比べて非常に高く、例年通り70%ぐらい、約300人程度を見込んでいる。内容としては昨年と同様、精華町の少年少女合唱団によるアトラクションや、2部では成人式実行委

員会による成人の集いを実施したいと思っている。

生涯学習課長 2 あいさつ運動について

1月10日から12日まで各学校、役場、駅周辺であいさつ運動を実施する。各学校の実施予定も掲載しているので、協力をお願いしたい。

生涯学習課長 3 打越台テニスコートについて

打越台のテニスコート改修工事の完了検査が年内に行えるような状態になっている。本日、プレイングタイマー照明の制御装置の設置工事を行い完成となる予定。実際の一般利用については1月の中旬ぐらいから、照明については、2月ぐらいからと考えている。教育委員会、総合教育会議で提案いただいたことが実現に至り、非常に有り難く感謝している。

【委員の意見等】

伊藤委員長 学校からの相談は、学校長が掌握した形で代表しての相談であるのか、それとも一教師からの相談であるのか。

総括指導主事 学校長もしくは教頭が代表しての相談である。

中谷委員 保護者も電話相談より来庁相談の方が問題解決する時間を考えれば良いかと思うし、やはり顔を突き合わせて行うほうがお互いの信頼関係を構築しながら相談業務に当たれると思う。今後も保護者の相談もしやすい雰囲気づくりに努めて頂きたい。

伊藤委員長 教育支援室が設置されて学校の反応はどうか。

中谷委員 学校の管理職は気持ち的に非常に楽になると思う。ある程度方向性は見つけられると思うが、あと少しという所があると思うので、そういう時に教育支援室の先生に相談することにより、より方針を固める事が出来ると思う。

教育部長 宇治市でのヒアリングでも、学校からの相談が多いとのことで、やはり最後の背中の一押しを教育支援室が担っていただいているような感じであった。本町においてもそういう状況になっている。

蓑毛委員 教育支援室というだけで相談しやすい。学校側としては連携をとってやっているという安心感もあるし、保護者も相談室、

支援室があるというだけで非常に頼りがいがある場所ができたと感じられているのではないかなと思う。

伊藤委員長 5カ月間の間で約150人というのは、多いほうなのか。
総括指導主事 多いと思う。

菘毛委員 賭け事はだめであるというような教育は本人たちの中には浸透していると思うが、お金を賭けることは法律的にどういうことなのかという認識があったか疑問である。

総括指導主事 学校の道徳等で賭け事の話はあまり出てこない。小さな遊びから友達同士の物の貸し借りから金銭の貸し借り、ついには賭け事という具合に段階的に考えていけば、小学生の頃から指導していく必要がある。

伊藤委員長 我々が学校訪問を行ってトイレの改善について意見を述べていたが、議員の皆さんも同じ思いであったのか。

教育部長 関心も高く、子どもへどうしてあげるのが良いのかという思いを持っておられる事においては、この場で議論をしていただいた教育委員の皆様と同じである。あとは財源の問題である。

伊藤委員長 洋式トイレが有るのと無いのでは、やはり子どもたちにとって安心感が全然違うと思うので、一度に大改修を行うのは無理であるが、配慮いただきたい。

(6) 後援関係

11月から12月に受け付けた教育委員会後援事業の報告は、総数10件、学校教育課関係は0件、生涯学習課関係が10件、うち社会教育係関係が10件、図書係は0件、社会体育係関係は0件。

(7) 1月の行事予定

(8) 閉会

委員長が第12回教育委員会の閉会を宣言。